床の間

建築寫眞文庫 6

TOKO-NO-MA 床の間

Published by Shokokusha

彰国社編

Edited by H.kitao

責任編集 北尾春道

Graphic Architecture 6

建築写真文庫 6

目　次

Contents

床 の 間

概説

日本住宅における床の間は鎌倉時代の武家造や禅家の書院床より発生し足利時代にその形式が芽生え後一般美術や工芸の発達と茶道や華道，香道の流行と共に長い年月の間にわが国土や民族文化によって洗練され完成した日本特有の架構美と装飾美をもつ室内構成である。そこには統合されたる材料の美，均斉された形態の美，あるいは色彩の美，感覚の美，工匠の誇りとする技倆の良さ，さらに古今の絵画や彫刻，陶器等の工芸の美術が展開し，自然の情趣に輝く挿花芸術も鑑賞せられ，ここに綜合的の装飾美術が床の間を通じて構成されるのである。そしてこれらの床の間は千変万化の形態を有しながら上は宮殿建築や大邸宅より下は九尺二間の民家に至るまでおよそ日本住宅として床の間を有しない家はないほどに普遍的に発達し，日本の国民性を最もよく表したものといえよう。

床の間はもと壁に仏画を掛け押板を置いて三ツ具足を飾り香を焚き花を生けたものから発したとも称しているが床の間に附属する附書院は禅家の書院床から変化し，床脇の棚は平安朝の二階厨子棚から変化したものと伝えられている。これらの架構的技術はあらゆる美術の発達と茶の湯の流行がその意匠の完成を促進せしめたもので，すなわち日本美術は床の間の生みの親であり，茶道や香道によって育くまれたものとも言い得る。今や床の間の形式は日本の住宅建築とは全く相離るべからざるものとなり，しかもその架構的表現に至っては古様の形式はもとより最近は近代的な意匠も考究せられさらに造形創造の世界にも生きんとしつつある。

床の間を構成する要素は床を囲む壁面，柱，(床柱・相手柱・隅柱等)落掛，床框，地板，床天井，諸種の棚板，袋戸棚，地袋，附書院及平書院の障子や欄間，下地窓，襖，畳等が主体となりその附属物としては軸掛釘，花掛釘，釣花蛭鍔，中釘，换鐘釣銅等を適所に打ちこれらが一つの形式に基づいて組立てられ，その構成は材料の許す範囲において自由な形式と風格をもって表現し，その直線や曲線，面等が形成する幾何学的形態と使用する材料のもつ色調等によってさらに統一，調和，対比，律動，均衡，均等，比例，節奏等が全体的に現出してはじめて床の間の架構美が表現され，さらに装飾や器物

の置合せ等によっていわゆる趣味的立場から性格的な美の表現がこれに同調し，豪壮を誇る大書院の床の間も，単なる小間の床の間においてもその美的判断の価値はいずれとも決定しがたく，ここに床の間の美は全く大衆的な美の要素を多分にもっているものといえるのである。

床の間の形式はその最も適切な表現の字句として古来より真・行・草の三体に分けられ，大書院等の大広間における上段書院や違棚をもつ華麗な床の間は真と称し小書院や小座敷等のやや清麗な雅致に富むものは行と称し，単純化され最も簡素な形式を表す茶席の床の間等を草と称されている。またその真にも真行草の三体がありしたがって行の真行草，草の真行草といわれるものが存しているが要はその形式の複雑，重厚，華麗，豪華なもの。温雅，高尚，端麗等。また単調，清楚，瀟洒，軽快な感覚によって感受せらるる感覚美を称されるのである。

床の間の名称としては普通本床，上座床，中座床，下座床，台目床，板床，畳床，蹴込床，踏込床，室床，洞床，塗廻床，袋床，壁床，織部床，附床，置床，釣床，翁破床，霞床，桝床，円相床等がある。また附書院には平書院，床脇書院，出書院等があってその書院の窓の形にも華頭窓，水月窓，半月窓，富士火頭，山道火燈等があり，棚には違棚や袋戸棚または地袋戸と組合せて相対的意匠により千変万化の体を表し，すなわち日の出棚，一葉棚，千鳥棚，雁行棚，芦葉棚，山里棚，霞棚等いわゆる天地の自然現象を表象したる様々な棚の形式があり，また，その用途の面から料紙棚，琶琶棚，香炉棚と称せられ，単にその形態を率直に謂表して一文字棚，通し棚，釣棚，二重棚等がある。

こうした床の間の様々な形式が今日まで幾百種にもあまる種類を挙げられているが最近は古様模写でなく近代感覚によって新しい形式の床の間も漸次進出しつつあっていわゆる近代数寄屋風の床の間，新構想の床の間等と言われるものもあるが，要はいたずらに新趣奇想天外な着想を追うのでなくその室に相応する落付いた床の間，棚の形にもその実用的な用途から立脚したもの，そして気品と風格に宿む床の間が創作せられて真の日本的な特有の架構美が表現されるのである。本巻は以上記した様々な床の間の例を掲載してその１となし，続いて歴史的な床の間，近代趣味の床の間，新しい構想の創作的な床の間等も追而出刊の予定である。

図版解説

11頁～33頁　　真の床の間

床の間の形式として最も厳正な格式をあらわすものを真の真と称し，この形式は主に大書院や客殿の床に用いられ，それは主に上段の間を構え，正面に床および違棚その脇に附書院および帳台構を備えたるもので壁はすべて張壁とし柱は大面取りの角柱を用い床は畳敷または板床でその最も代表的なものとしては京都西本願寺内白書院の上段の間（伏見城遺構）を挙げられ，その他殿館や寺家の書院にも数例を見られる。この厳格な上段の形式をやや省略せるものを真の行と称し，会館の日本間や料亭の大広間にはよくこの形式を用いられる。さらに帳台構を除き床・違棚・附書院を構えたるものを真の草と称せられ，普通住宅における広間等には多くこの形式が用いられている。こうした真の床の間の架構材料としては床柱は檜，栂，赤松，杉，桐等の心去り材の角柱を用い，落掛は檜，杉等の柾，床框は黒の真塗，床畳は紋縁を使用し，附書院には欄間や黒塗框の書院障子（柳障子）を入れ，袋戸棚，違棚は欅，花林，楠，赤松，桑等の棚板を用い，地板は欅，赤松等を使用し，壁は張壁または京壁とする。

〔真の真〕の例としては金地院書院の上段の間（国宝）を挙げ〔真の行〕として光浄院書院の床の間（国宝），〔真の行〕としては西本願寺黒書院の床の間（国宝）を掲載した。いずれもその3種の格式を明確に表現せるもので，その他の床の間はいわゆる真の行以下様々の変化に富むものとして宇治，松殿山荘，京都西本願寺錦華寮，料亭稲垣，八百善，柳光亭，初波奈，福田家等の床の間を掲載せるものである。

34頁～55頁　　行の床の間

住宅における居室や客室，料亭や旅館の小座敷，茶席の広間等に構えられる床の間は多く行の形式によるものが多い。この形式は，主に床と附書院を組合せ，あるいは床と棚を組合せたる場合，また床のみの場合もある。床の間の構造は畳床，蹴込床，踏込床，袋床等となし最も自由な架構形式によるもので，それは高雅，端麗な感じを与える。すなわち塗框を入れ附書院を附

し，絞丸太の床柱，杉または桐の落掛を用いた場合は行の真と見るべく，蹴込床や踏込床に棚を附せる場合あるいは平書院を取扱った場合は行の行と称し，袖壁や袖柱をあしらって袋床となせる場合は行の草とも称せられる。

〔行の真〕としては京都曼殊院書院の富士の間（国宝）を掲げ，〔行の行〕には横浜三溪園臨春閣の天楽の間（国宝）を，〔行の草〕としては近江長江の含山軒蘭亭の間（国宝）および月華殿檜扇の間（国宝）を掲載した。いずれもこの形式としては代表的のものである。その他の床の間は料亭生島，稲垣，柳光亭，初波奈，福田家，八百善その他茶屋の床の間を掲げたものである。

56頁～65頁　　草の床の間

普通4帖半以下の茶席小間に構えられる床の間を草の形式と称されるがそれは主に床だけの場合が多い。これらの形式には床框を入れた畳床，あるいは蹴込床等があり，種類としては台目床，洞床，室床，翁破床，桝床等がある。台目床はその標準寸法としては間口4尺，奥行2尺4寸とし，桝床は普通3尺1寸5分角の方形の床である。床框は自然木を用いまたは黒漆塗とするが絞縁の畳床とせる場合は草の真，板床や洞床，桝床とせる場合は草の行，壁床のごとき最も単純なものは草の草と称すべきである。

〔草の真〕として引例せるものは1間床の畳敷とせるもの，〔草の行〕は1間床を踏込とせるもので〔草の草〕としては壁床の形式を示す。

その他は茶席の床，閑室の床，小席の床等を示すものである。

66頁～77頁　　料亭の床の間

料亭の床の間としては宴会場や集会場に利用せられる大広間の場合，閑談や座談等に使用する座敷の床，小座敷として用うる小席の床などがある。大広間の場合は前にも記したように真の形式を採用し，主に本床を中心に附書院や脇書院および各種の棚を構え，この場合厳正な格式よりも比較的豪壮華麗な意匠と配置が好まれる。最近は照明の装置が発達してこうした床書院の各部も建築化されつつある。またこのような大広間には必ず舞台が附属するかあるいは次の間を利用して舞踊を演ずるように計画するため床の間の配置と結構がこうした場合を考慮されている。

小座敷の床の間はあくまでも優美，端麗に雅致と瀟洒に構えられる。した

がって袋床や小脇棚を意匠的に工夫し，また踏込の板床として自由な構想のもとに高尚優雅に造られる。掲載の図は料亭稲垣の大広間，荻乃の宴会場，柳光亭の客間，初波奈の客間，福田家の小座敷を示す。

78頁～85頁　　旅館客間の床の間

旅館の日本座敷としての客間における床の間は旅客になんとなく親しみを与える結構を要とし，したがって自らあまり複雑奇想な意匠よりも簡雅，清楚な意匠として色調も柔らかに表現する。また客間には必ず電鈴や電話の設備も必要となってこれらの置場所を適当に便利よくかつ体裁よく装置する関係上床脇の結構もこれに詳しく考究されている。すなわち袋床としてその袖壁の陰に電話を置く場合，書院の文台を利用すること，洞床としてその床内に設置する場合様々に研究されて，また別趣な床棚の意匠も考えられるであろうが要するに旅館の客間における床の間は従来一律的に取扱れていたがその室名や位置，庭の眺め，遠望等により個性のある親しみ深い構想で旅愁を慰め，旅館に深い美しい印象を与えることが望まれる。

86頁～94頁　　新構想の床の間

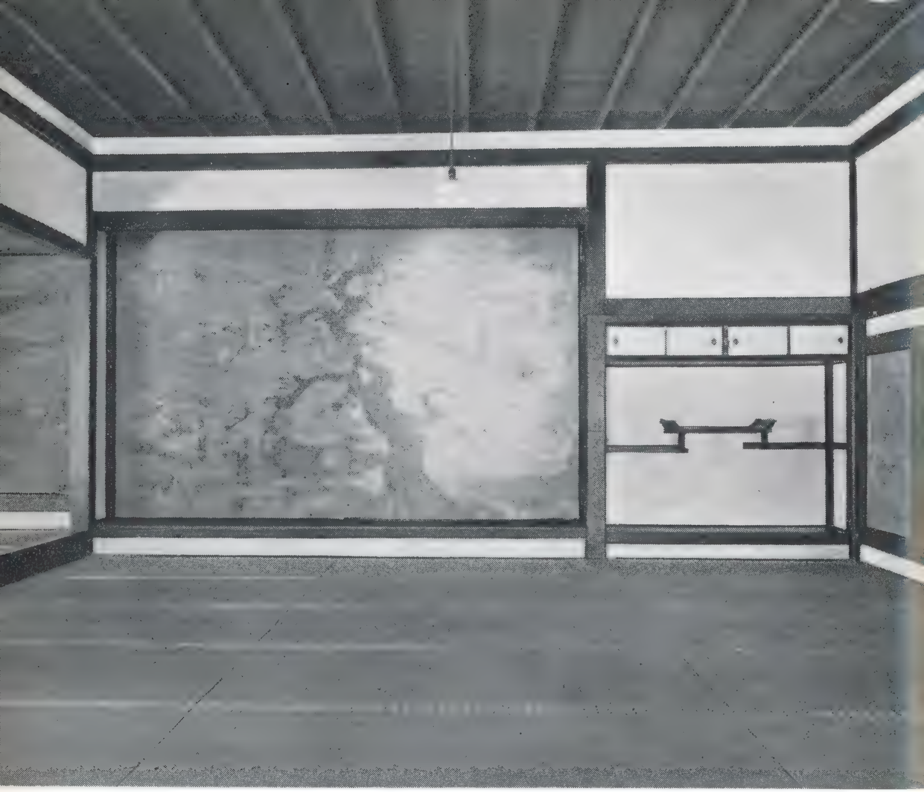
最近は古様の床の間の形式から脱して近代的な感覚と着想によって各種各様の新しい構想の床の間が出現しつつある。すなわち近代数寄屋と称する新傾向に伴う床の間，近代材料の結構によって創作的な床の間を造る場合，腰掛の生活形式に順応するための床の間，洋画や新華道の挿花を観賞せんための床の間，絢爛たるキャバレーのステージにもその壁面装飾としての背景の床の間等々すべて近代様式の感覚をもつ床の間としてあらゆる方面にすでに現れているがこれらの新傾向の床の間がやはり日本の国民性より自然に醸し出されているものとしてそれらが現代の生活の上に立脚してできたものであれば今後さらに進歩的な発展性をもって優秀な床の間が完成されることを期待されるであろう。ここに引例せるものは古様の形式によりながらも多少近代的な材料（ベニヤ板の練付天井・螢光燈・アクリライト）等により新趣の感覚をあらわしているもの(東京・料亭むら木，戸田組設計施工)，その他立札席の床，煎茶座敷の床の間等従来の型から多少脱したものを掲載せるものである。

真の床の間

"SHIN" TYPE ALCOVES

〔真の真〕金地院書院・上段の床の間（京都・南禅寺）
"Shoin" of "Konjiin" Temple-Alcove in Place of Honor (Nanzanji Temple-Kyoto)

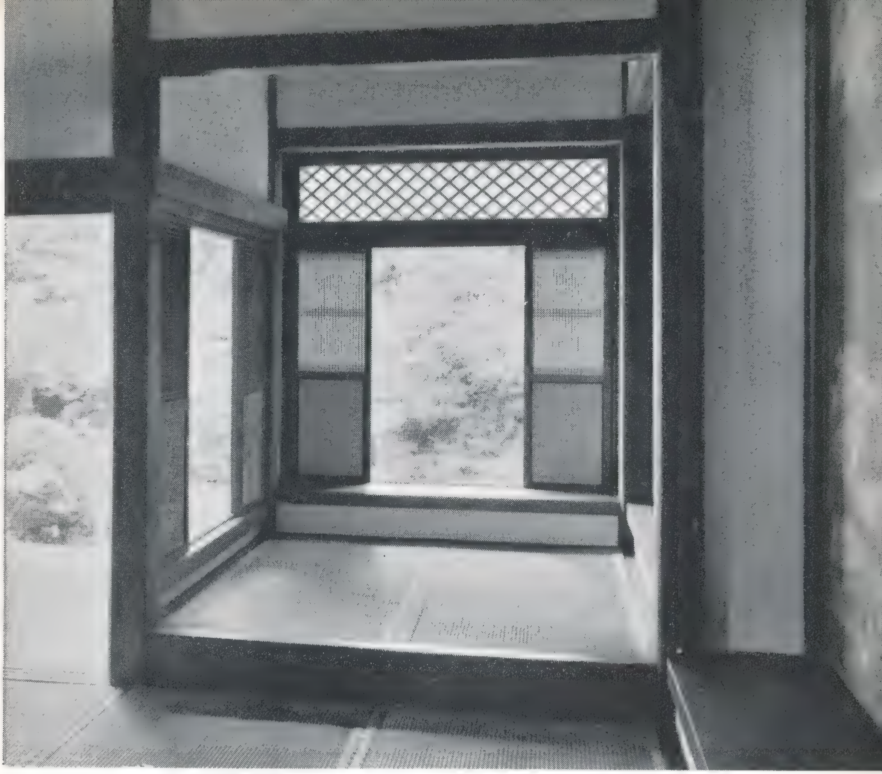




〔真の行〕光浄院書院の床の間（滋賀県・三井寺）

Alcove in " Shoin" of "Kojoin" Temple

(Miidera Temple-Shiga Pref.)

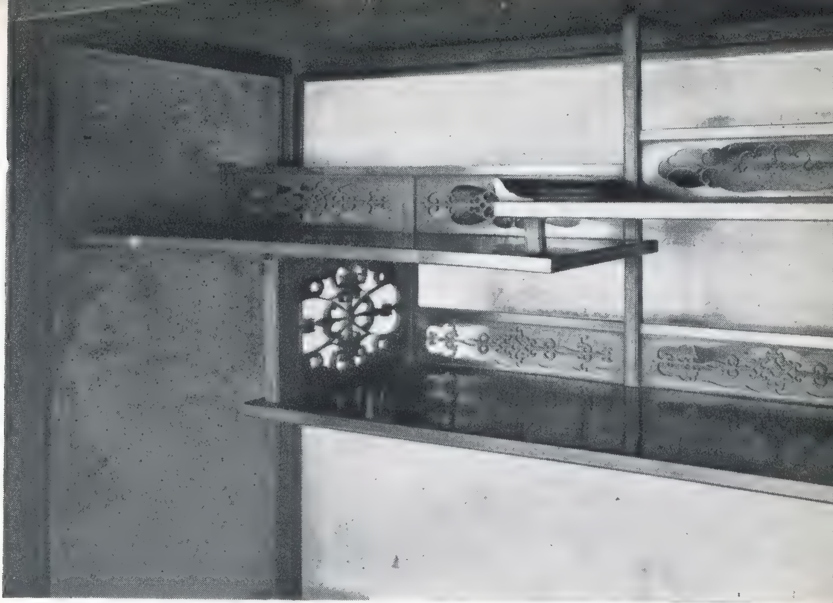


〔真の行〕光浄院書院の床脇上段の間（滋賀県・三井寺）

Place of Honor by Alcove-side in "Shoin" of "Kojoin" Temple (Miidera Temple-Shiga Pref.)

〔真の草〕黒書院の床の間　Alcove in "Black Shoin"

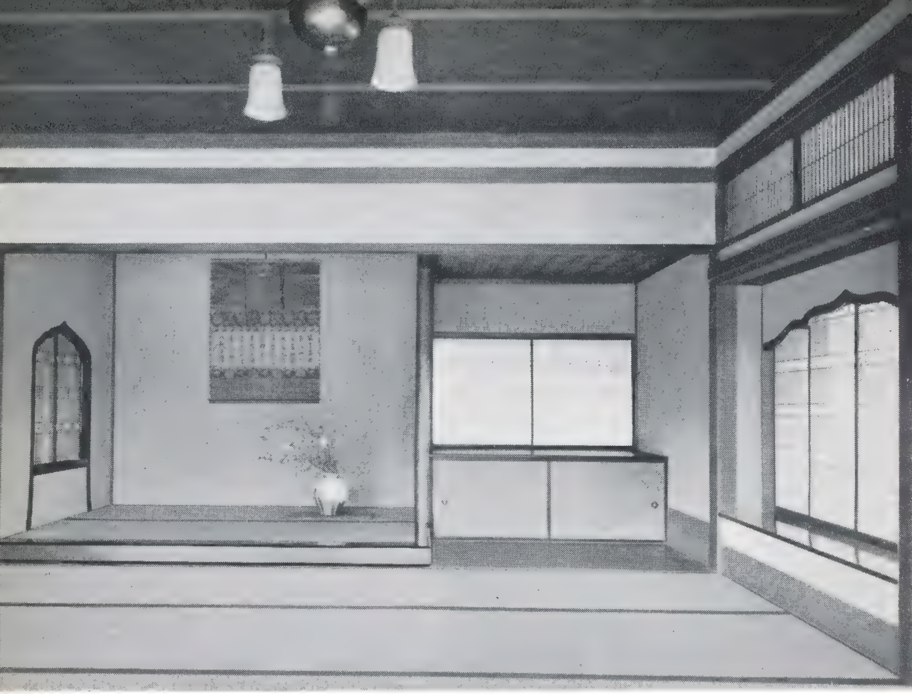




黒書院床脇の棚（京都・西本願寺）

Alcove-side Shelf in "Black Shoin"

(Nishi-Honganji Temple-Kyoto)



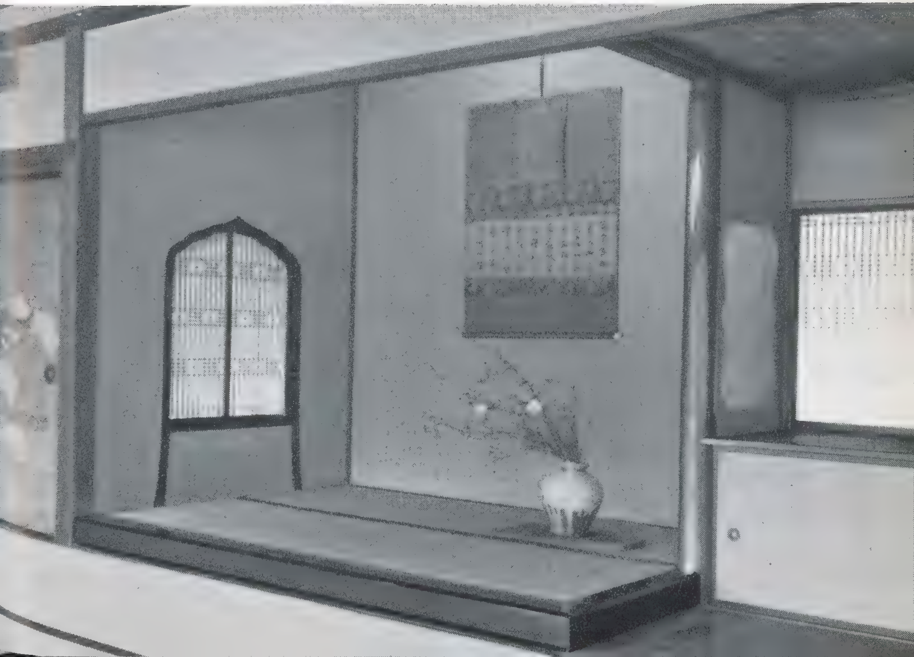
華燈窓と出書院のある床の間（東京・福田家）

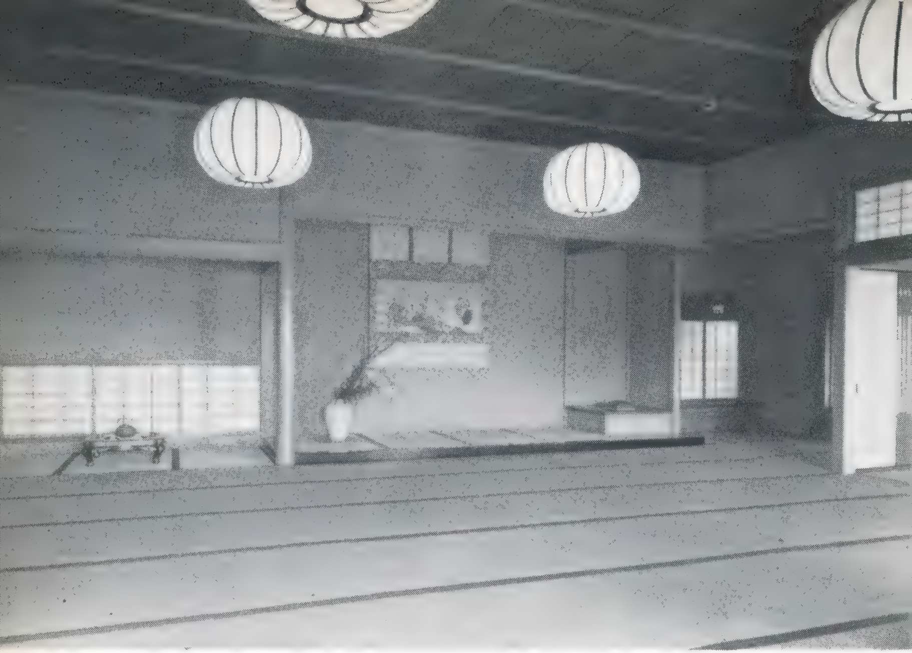
Alcove with "Dejoin" & "Kato" Window

(Fukuda's-Tokyo)

床	9尺畳2枚敷
床　柱	檜四方柾
床　框	黒蠟色
地袋棚板	杉杢板
書院棚板	黒真塗

詳 細 Alcove in full view





同右床脇書院と琵琶床のある床の間（東京・柳光亭）

Ditto: Alcove with Alcove-side "Shoin" & "Biwa" Floor (Ryuko-tei-Tokyo)

床	4 帖 敷
床　柱	絞り丸太
床　框	黒 真 塗
落　掛	杉　柾
床脇の襖	石山切模様仕立



同右の床左脇詳細　Ditto: Alcove-side in the left

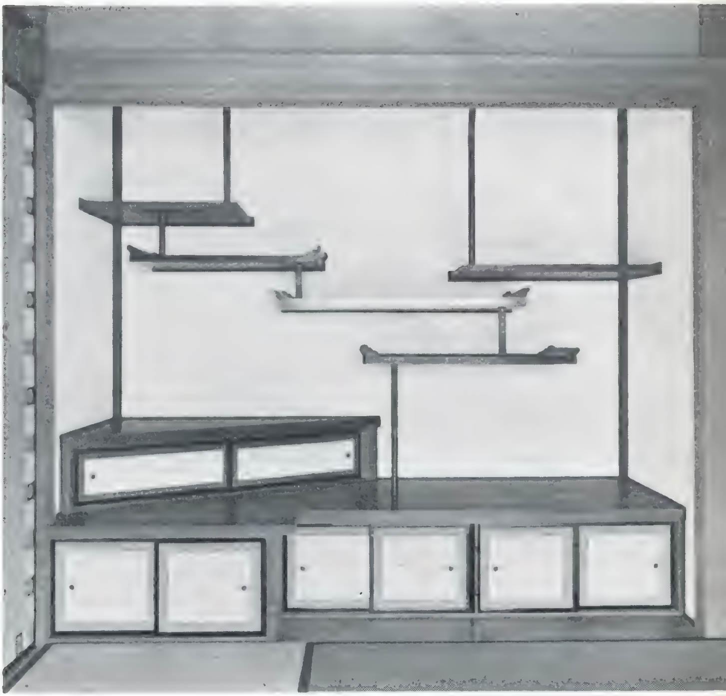


同右の床右脇詳細　Ditto: Alcove-side in the right

霞棚のある床の間（宇治・松殿山荘）
Alcove with "Kasumi" Shelf (Shodensan Villa-Uji)



床	台目畳3帖敷.
棚	修学院離宮の霞棚写し
床柱	桐4寸角



同 右 霞 棚 の 詳 細

Ditto: "Kasumi" Shelf in full view



三方に欄間を繞らせる床脇書院のある床の間（錦華寮）

Alcove with Alcove-side "Shoin"; Transoms on three sides (Kinka-Ryo)

床　　柱	檜四方柾
相 手 柱	白檀の心材
書院の欄間	桐花狭間透
同　棚板	桑
小　　襖	竹屋町唐草模様

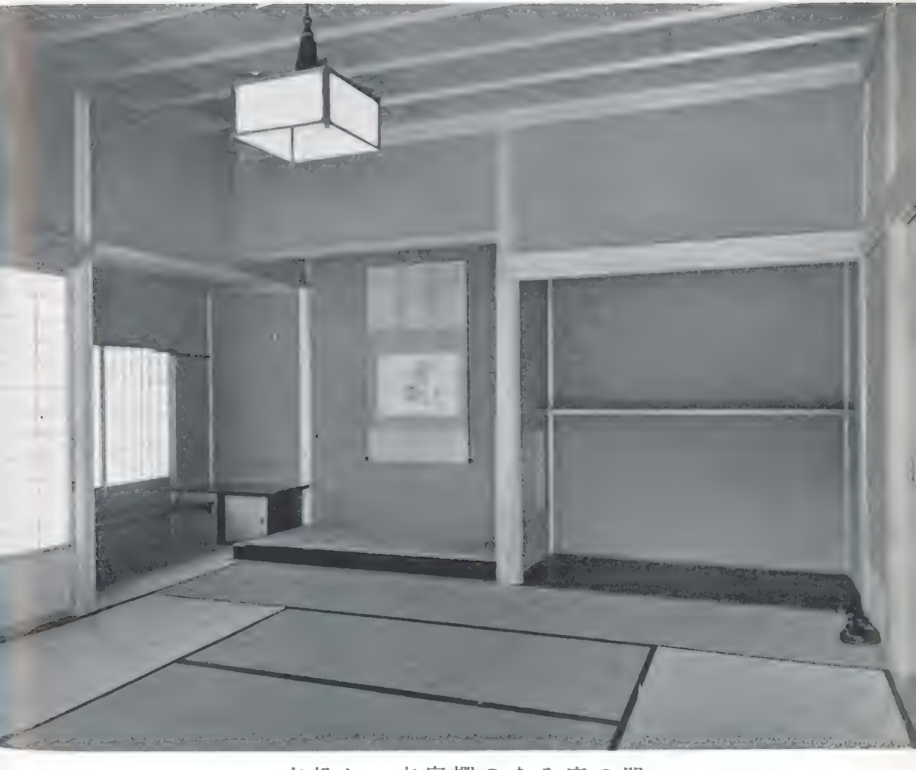


同右床脇書院の詳細　Alcove-side "Shoin" in the right



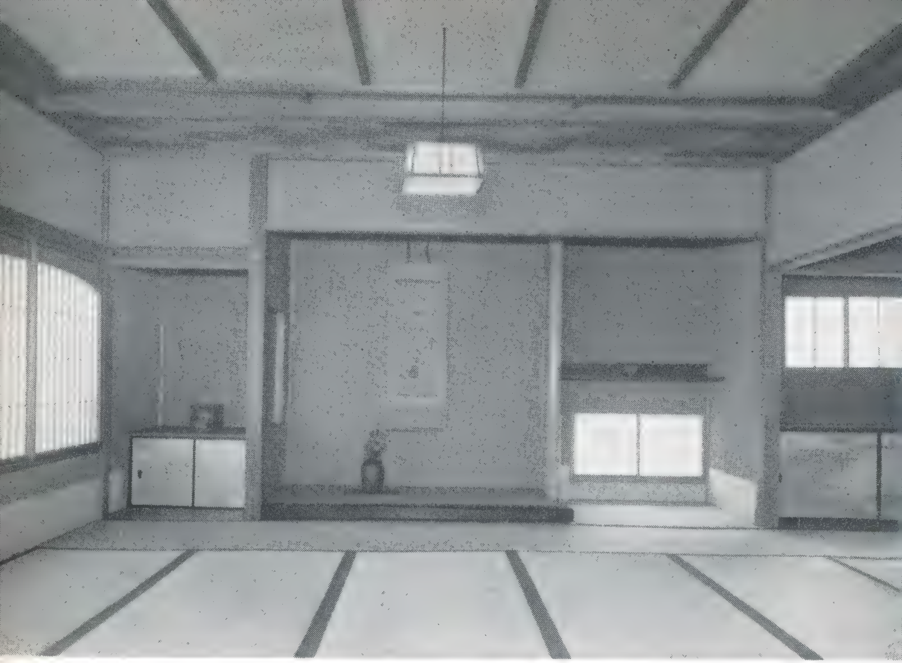
文机と一文字棚のある床の間
Alcove with Desk & "Ichimonji" Shelf

文　　机	黒　真　塗
一文字棚	桑
床　　柱	絞　丸　太
床脇地板	欅



文机と一文字棚のある床の間

Alcove with Desk & "Ichimonji" Shelf



平書院と香炉棚のある床の間（東京・栗山邸）

Alcove with "Hirajoin" & Incense Burner Shelf
(Kuriyama's-Tokyo)

柱	栂心去材
床　柱	赤　松
床　框	面皮木地漆塗
通　棚	遠州七宝透し
小　襖	石山切紋様仕立
釘　隠	仁清写六葉陶製

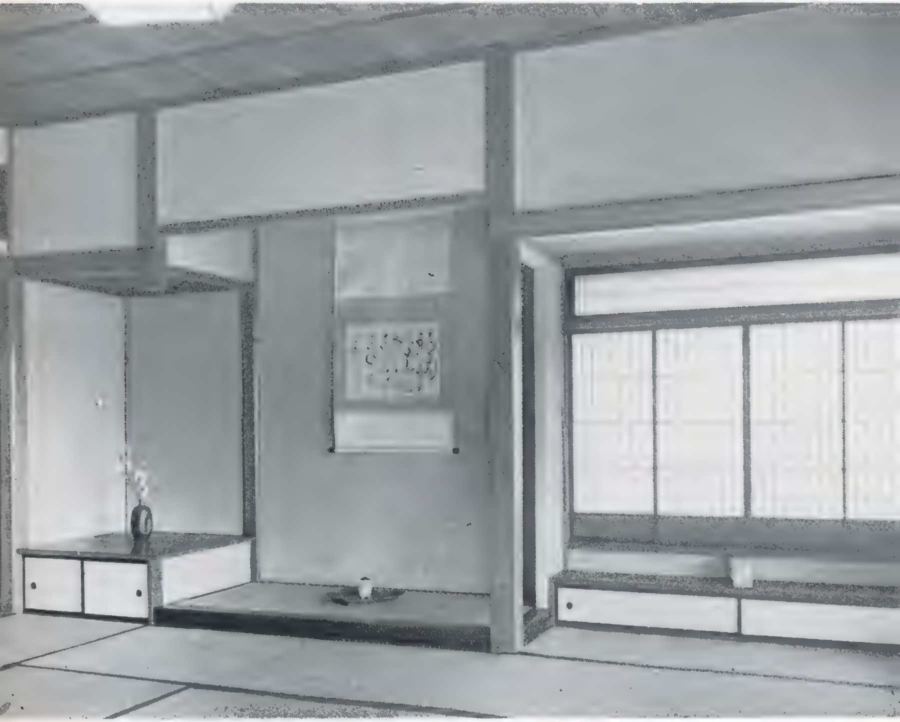


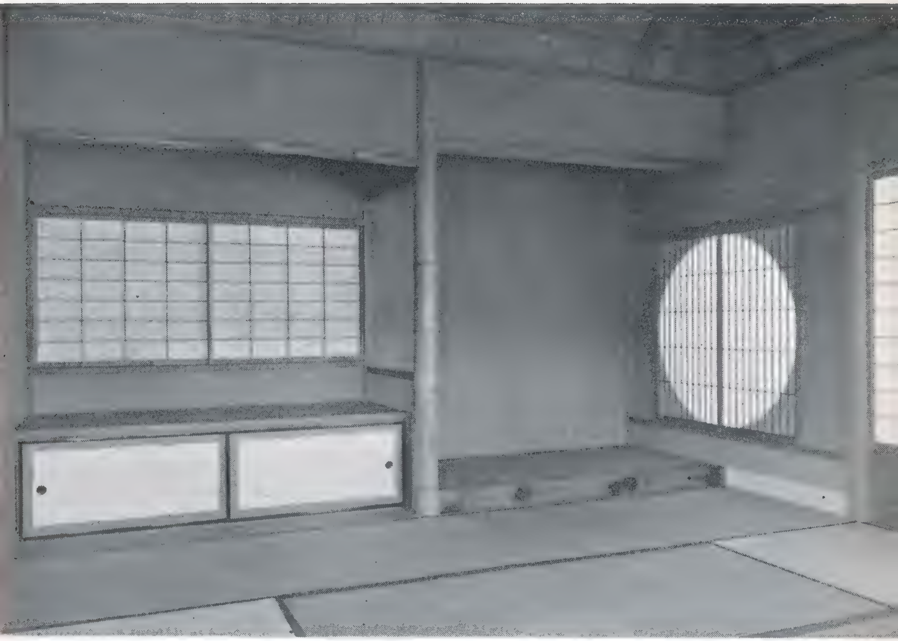
同右平書院および床脇詳細

Ditto: "Hirajoin" in the right
& Alcove-side in full view

床・棚・附書院を一列に構えたる床の間

Alcove, Shelf & "Tsukejoin" in a row

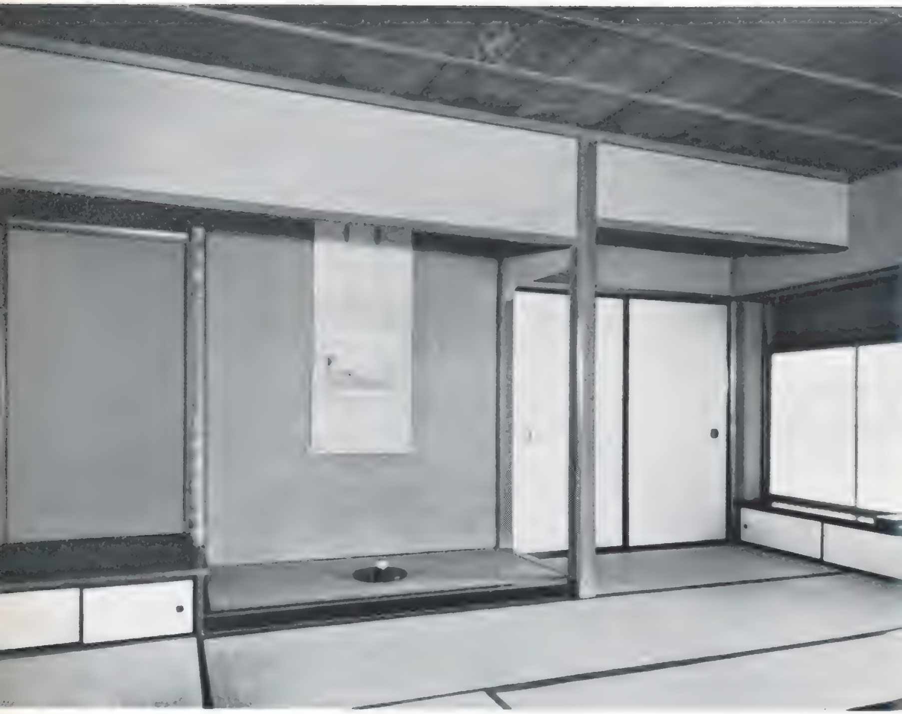




円窓の平書院をもつ床の間

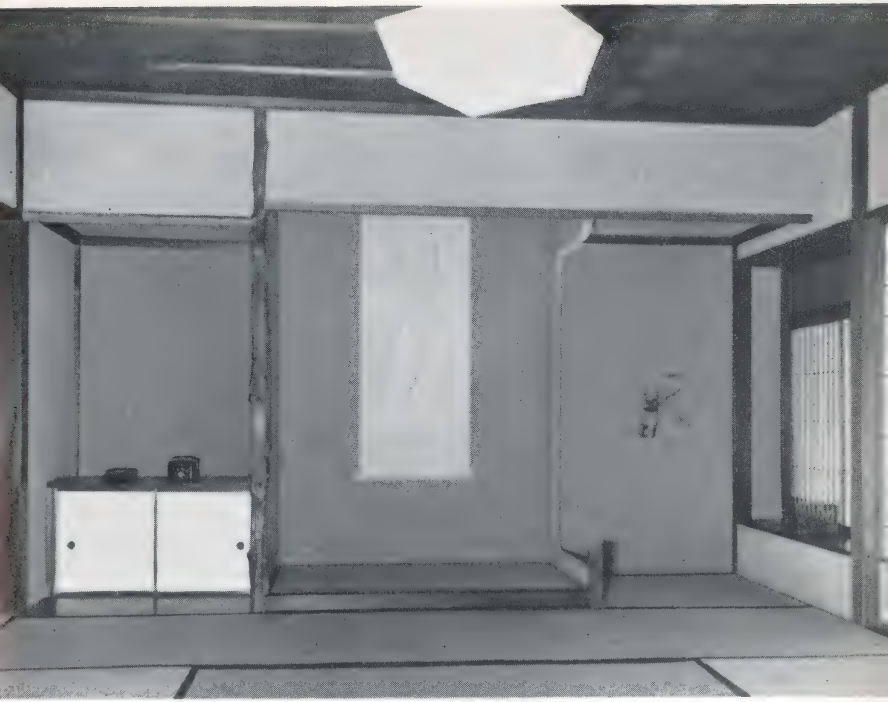
Alcove with "Hirajoin" of Round Window

床柱	孟宗竹
床框	欅



面皮柱と香節柱のある床の間

Alcove with "Menkawa" & Kobushi" Posts



床脇に花掛中釘のある床の間（東京・初波奈）

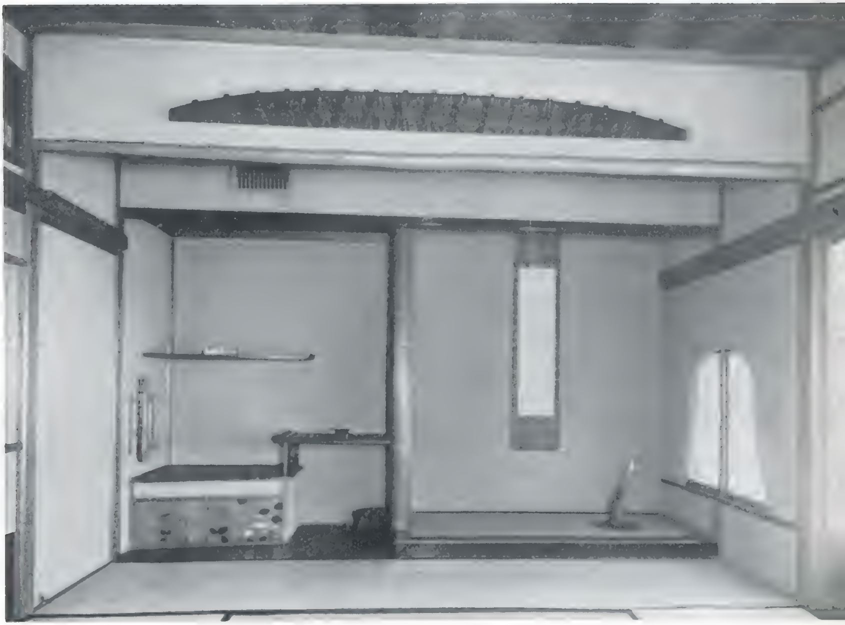
Alcove with Flower-vase Hanger in Alcove-side Wall (Hatsuhana-Tokyo)

床柱	松の心材
落掛	桐柾
床框	面皮



山道火頭の平書院のある床の間
Alcove with "Hirajoin"

床　柱	赤　松
框	黒真塗
火燈縁	黒真塗



床脇に富士火頭窓のある床の間
Alcove with Window symbolizing Mt. Fuji in Alcove-side

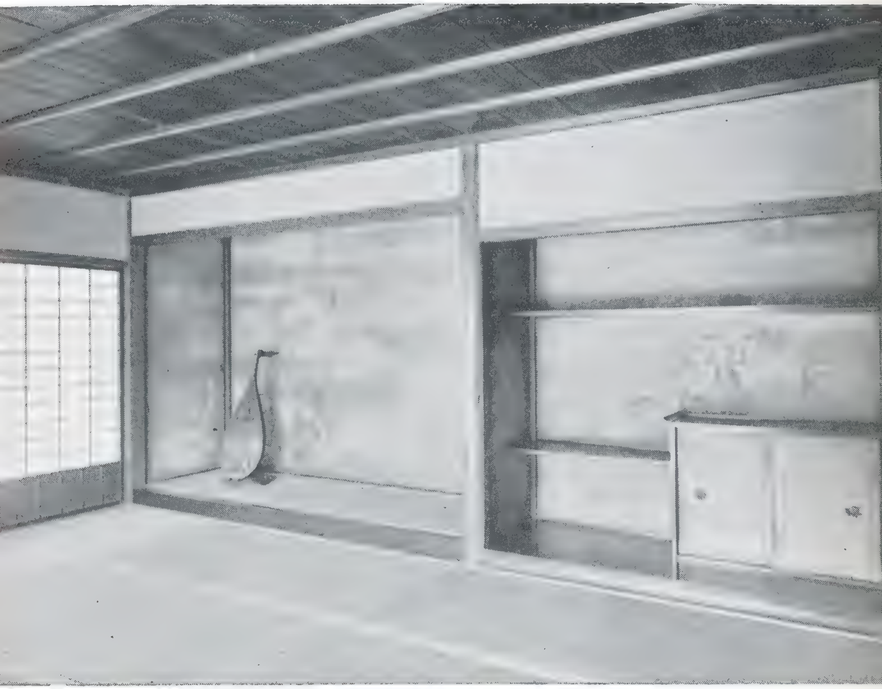
行の床の間

"GYO" TYPE ALCOVES



〔行の真〕曼珠院棚のある床の間（京都・曼珠院）

Alcove with "Manjuin" Shelf



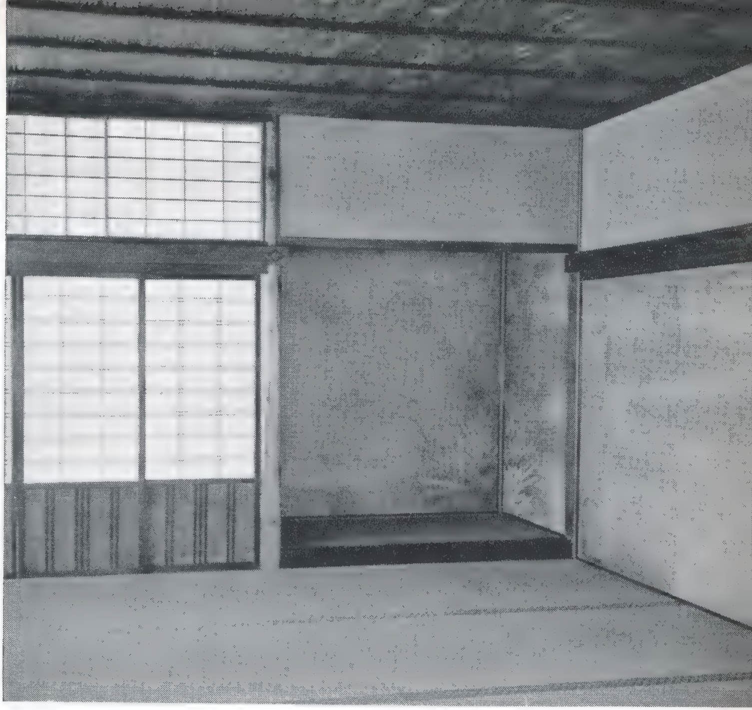
〔行の行〕臨春閣天楽の間（横浜・三溪園）

"Rinshunkaku-Tenraku" Room(Sankei-En-Yokohama)

〔行の草〕含山軒蘭亭の間（滋賀県・長浜）

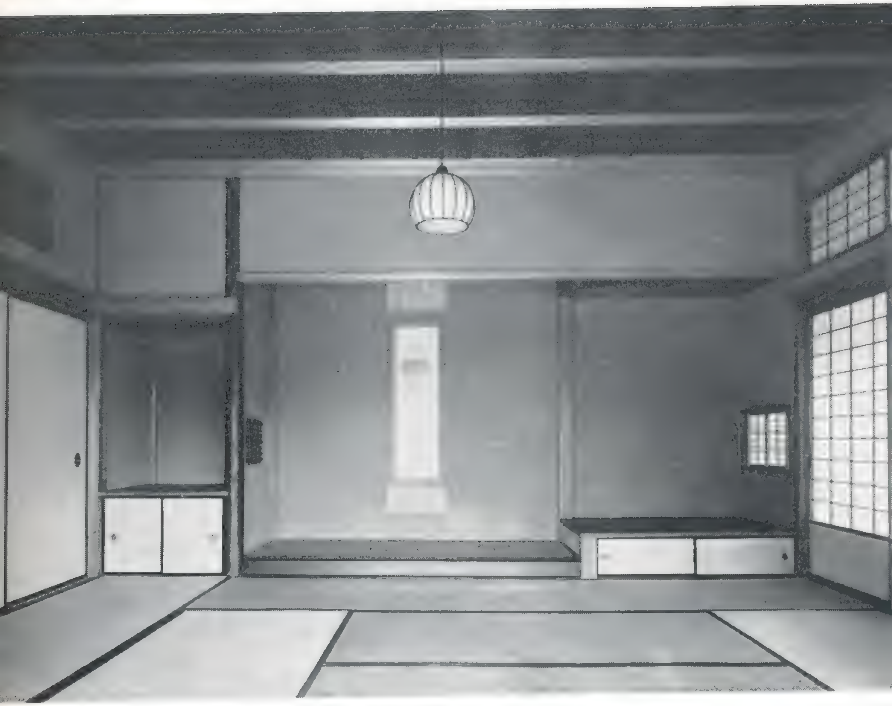
“Ganzankenran-tei” Room (Nagahama-Shiga Pref.)





〔行の草〕月華殿檜扇の間（横浜・三溪園）

"Gekkaden-Hiogi" Room (Sankei-En-Yokohama)



香炉棚と琵琶棚のある床の間

Alcove with incense burner shelf & "Biwa" shelf



床脇に隅切窓と出書院のある床の間
Alcove with "Sumikiri" window & "Dejoin" in alcove-side

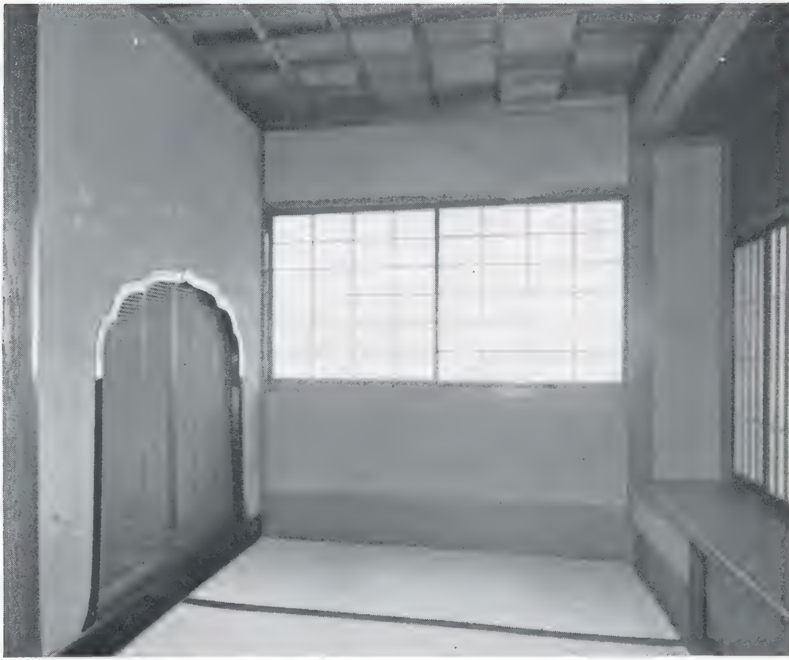
床柱	赤松
框	黒真塗
落掛	杉柾

床	9尺畳2帖敷
床　柱	絞　丸　太
框	黒　真　塗
華燈窓	すだれ障子

床脇壁に華燈窓のある床の間

Alcove with "Kato" Window in Alcove-side





同右華燈窓詳細　"Kato" Window in full view

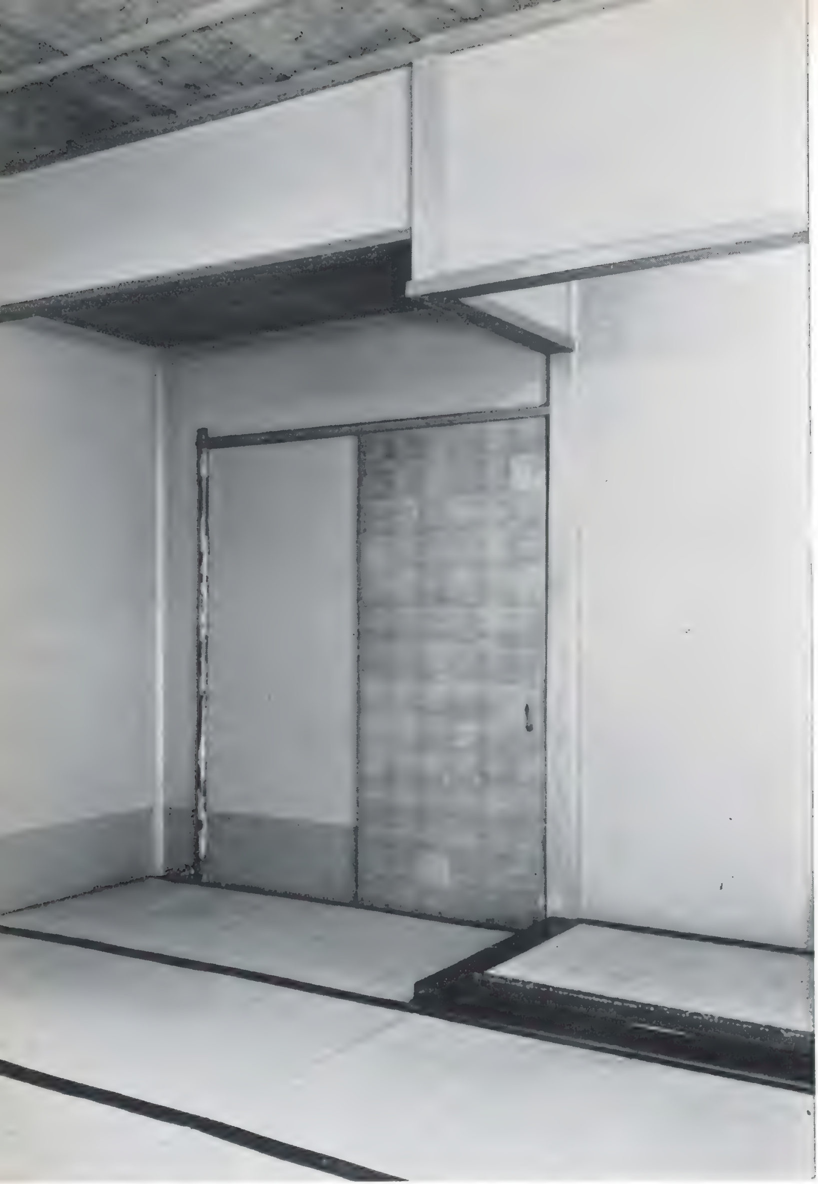


床脇に天袋をもつ床の間（東京・栗山邸）
Alcove with Upper Cupboard in Alcove-side

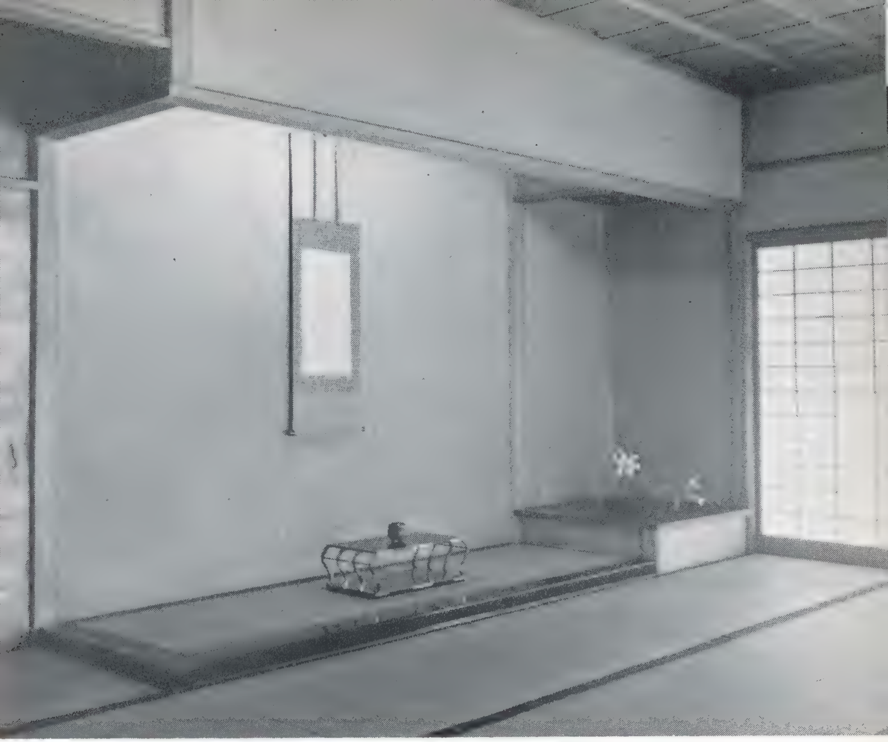
小　襖　　石山切地紋写しの小色紙散らし
欄　間　　鳥羽僧正絵巻線彩



同右天袋詳細　Upper Cupboard in full view



床柱のない床の間 Alcove without Post



同右床の間および脇床　Ditto:Alcove & Alcove-side

柾	面皮塗縁
落掛	杉　柾

文机を床脇に配せる床の間　Alcove with Desk in Alcove-side



同右文台地袋の詳細　Desk in full view

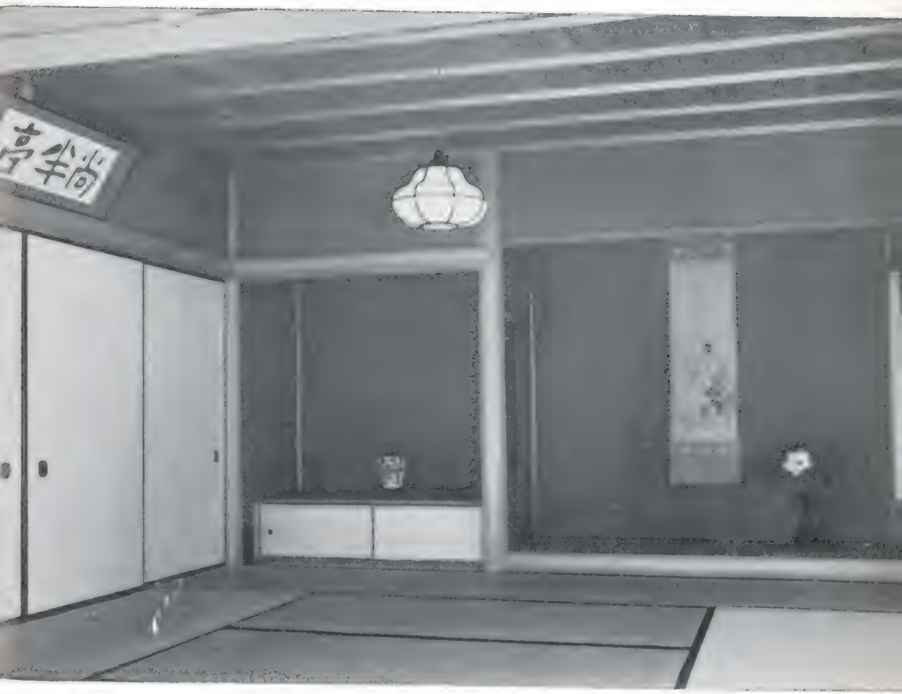




釣棚のある床の間（東京・柳光亭）

Alcove-with Suspension Shelf (Ryuko-tei-Tokyo)

床　柱	赤杉削り丸太
框	面　　皮
釣　棚	桑　簿　板
釣　紐	紫絹組紐房付



附書院と地袋のある床の間（北鎌倉・尚半亭）

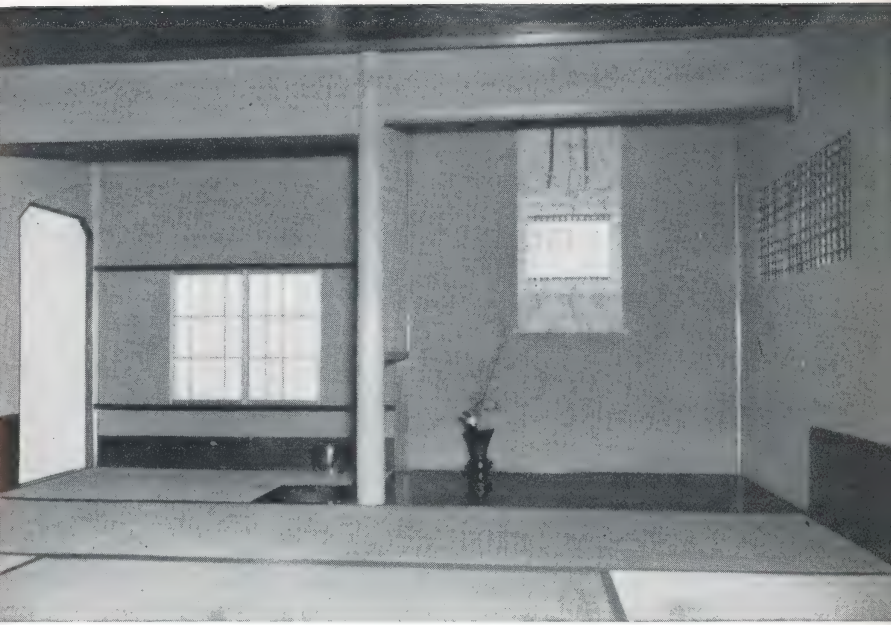
Alcove with "Tsukejoin" & Bottom Cupboard

(Shohan-tei-Kita-Kamakura)



2帖敷の床と出文机をもつ床の間

Alcove with 2-mat Floor & Desk

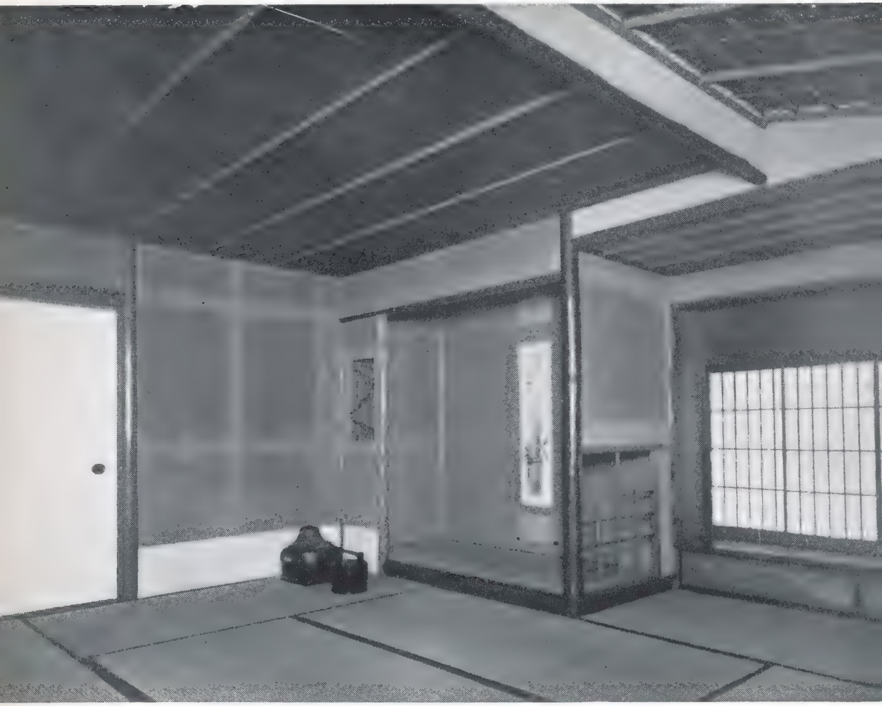


向切炉のある踏込床（北鎌倉・最明庵広間）

Mat-leveled Alcove with Fire Place
(Parlour of Saimeian-Kita-Kamakura)

床脇に乱格子のある袋床（京都・平井邸）

Alcove with Random Lattice in Alcove-side (Hirai-tei-Kyoto)

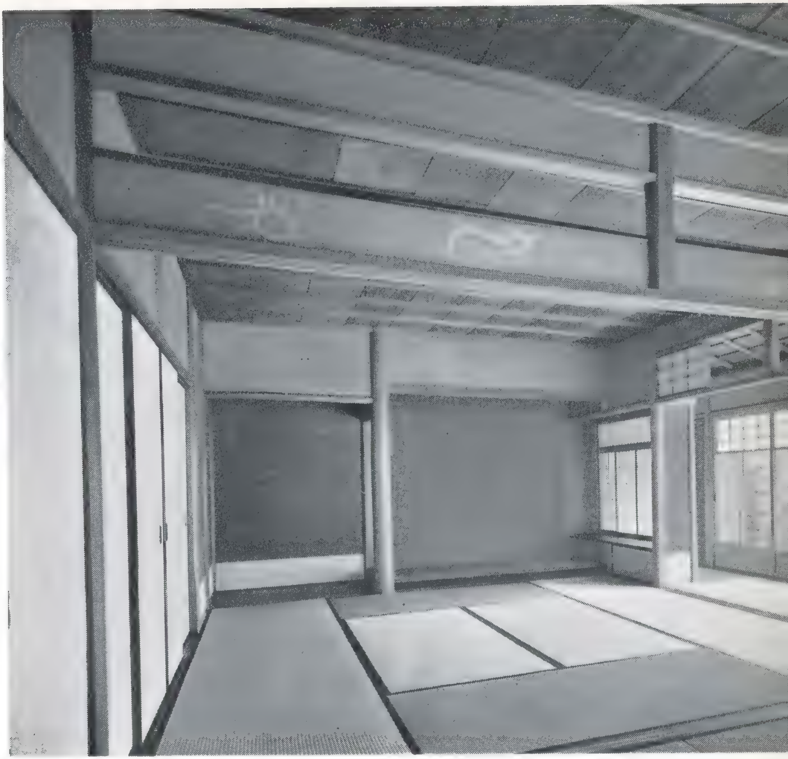




床前に寄板のある板床 Floor Alcove

花明り窓（下地窓）のある床の間　Alcove with Lower Loop-light Window



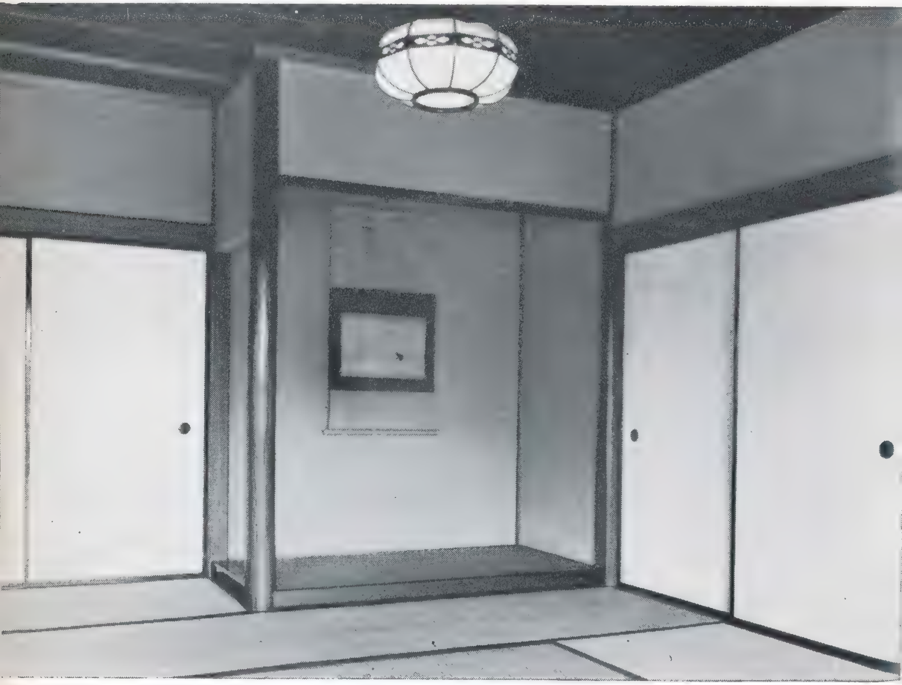


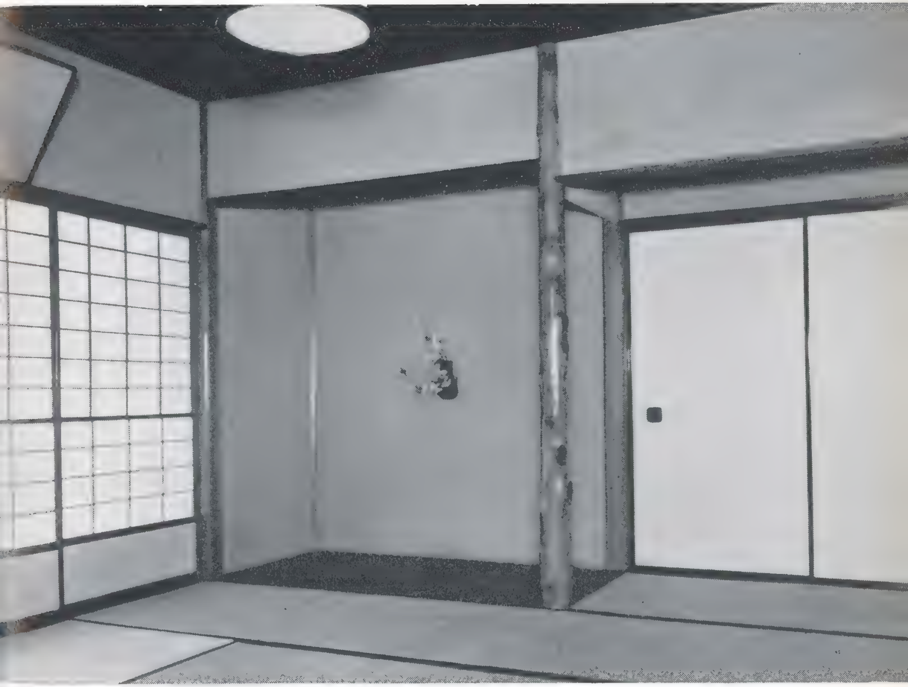
附書院のある茶席広間の床

Alcove with "Tsukejoin" in Tea Ceremony Hall

草の床の間
"SO" TYPE ALCOVES

〔草の真〕床脇を吹抜とせる畳床　Mat-leveled Alcove with Higner Ceiling





〔草の行〕床脇を吹抜とせる踏込床

Mat-floor Alcove-side with Higher Ceiling



〔草の草〕茶 席 の 壁 床

Miniature Alcove in Tea Ceremony Room



墨蹟窓のある床の間

Alcove with "Bokuseki" Window

床	台目床
床柱	赤松
框	黒本焼陶製
落掛	赤杉柾



閑 室 の 床 の 間（児玉希望邸）
Alcove in Retreat (Kodama-tei)

茶 室 の 袋 床

Deadend alcove in tea ceremony room





踏込地板とせる桝床 Mat-leveled Floor Alcove



小 席 の 洞 床　Deadend Alcove Niche in Small Room



月を表象せる床の間（京都・洗月亭）

Moon symbolized Alcove (Sengetsu-tei-Kyoto)



踏込の地板とせる壁床（織部床）
Mat-leveled Floor Alcove (“Oribe” Alcove)

料亭の床の間

ALCOVES OF JAPANESE STYLE RESTAURANTS







大広間〔宴会場〕の床の間（東京・稲垣）
Alcove in Grand Hall (Banquet Hall) (Inagaki-Tokyo)

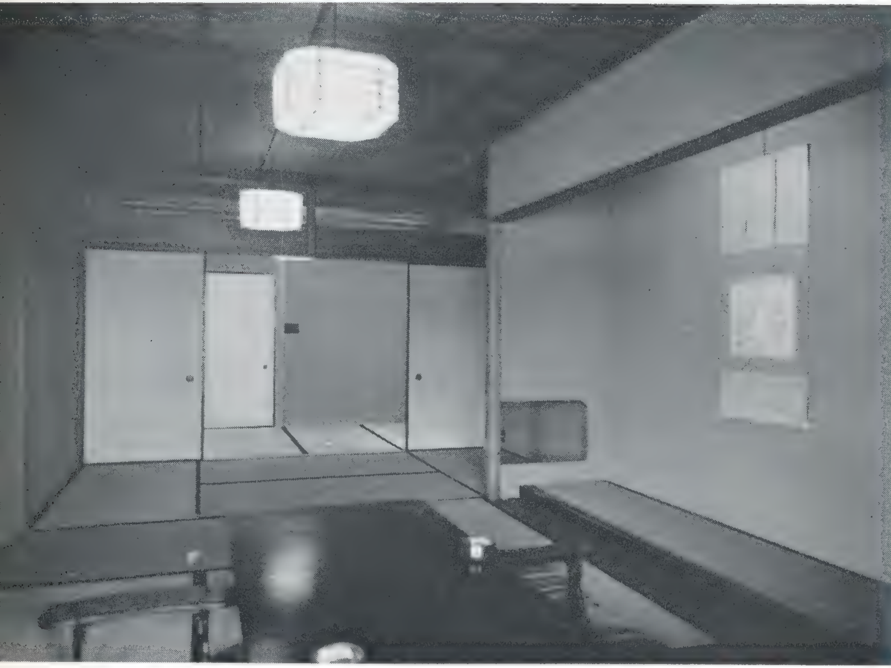
◀ 4帖敷の床と両脇に書院窓のある床の間（東京・荻乃）
4-mat Alcove & "Shoin" Windows in both-sides
(Ogino-Tokyo)



床脇に書院窓を矩曲に配したる床の間（東京・柳光亭）
Alcove with Angular "Shoin" Windows in Alcove-side (Ryuko-tei-Tokyo)



同右書院窓詳細 "Shoin" Windows in full view



床前に寄板を置き小脇棚のある床の間

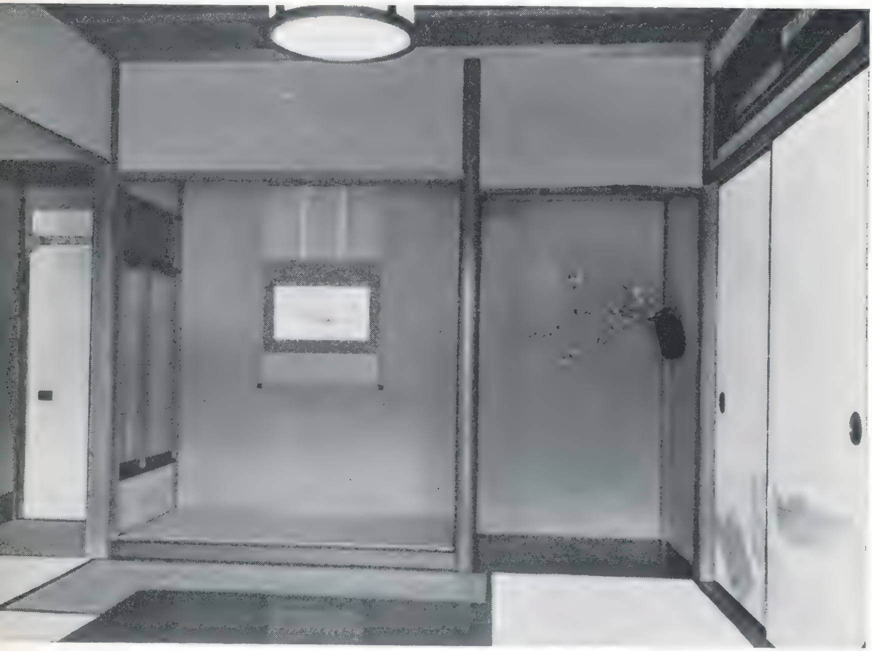
Alcove with Flower Stand, floored in front of



同小脇棚の詳細　Ditto: Flower Stand in full view

床脇壁を平書院風に脇床に中釘をもつ床の間

Alcove with Flower-vase Hanger in "Hirajoin" like Alcove-side

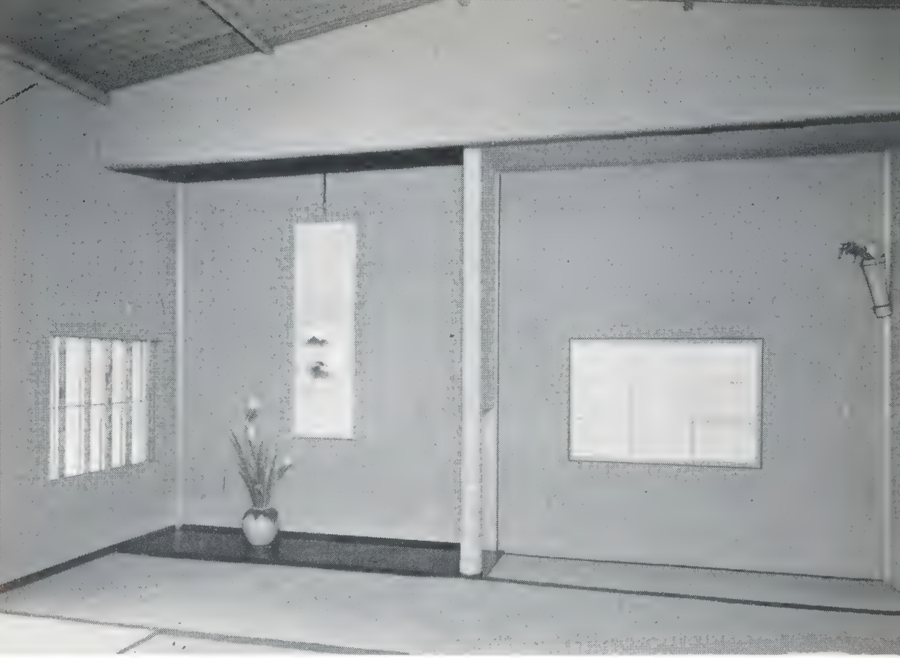




平書院と脇床のある床の間　Alcove with "Hirajoin" & Alcove-side



袖壁の内部に地袋棚のある踏込床（東京・柳光亭）
Mat-leveled Floor with Cupboard in Alcove-end
(Ryuko-tei-Tokyo)



床柱と落掛に竹を用いた踏込床（東京・むらき）

Mat-leveled Alcove with Bamboo Post & Lintel Joist（Muraki-Tokyo）



落掛を二重とせる踏込床（東京・稲垣）

Mat-leveled Alcove with Double-lined Lintel Joists

入隅を塗廻しとせる床の間（東京・柳光亭）

Alcove with lacquered corner posts



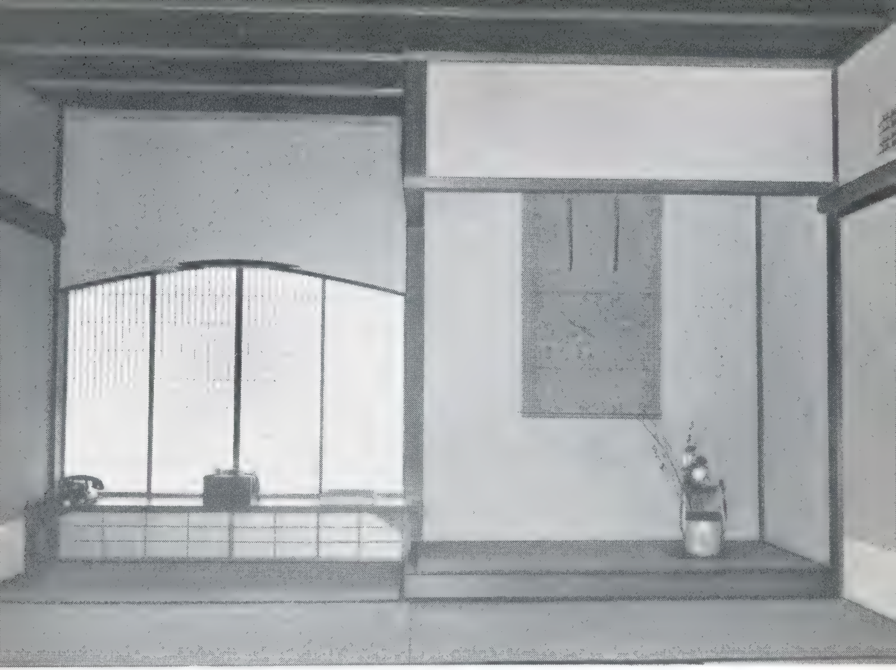
旅館客間の床の間

ALCOVES IN GUESTCHAMBERS OF JAPANESE STYLE HOTELS



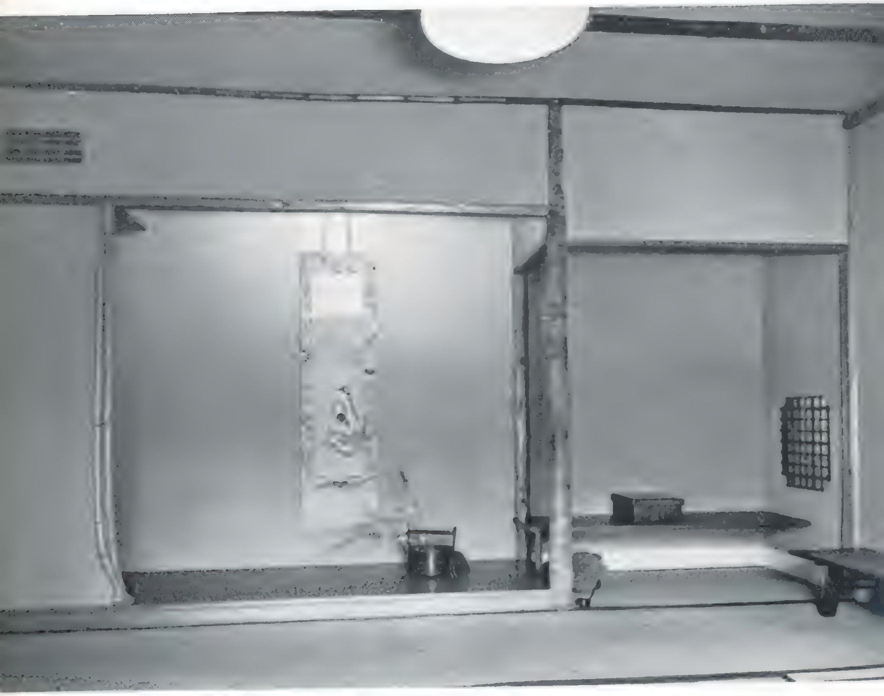
平書院と脇床のある床の間（京都・都ホテル）

Alcove with "Hirajoin" & Alcove-side (Miyako Hotel-Kyoto)



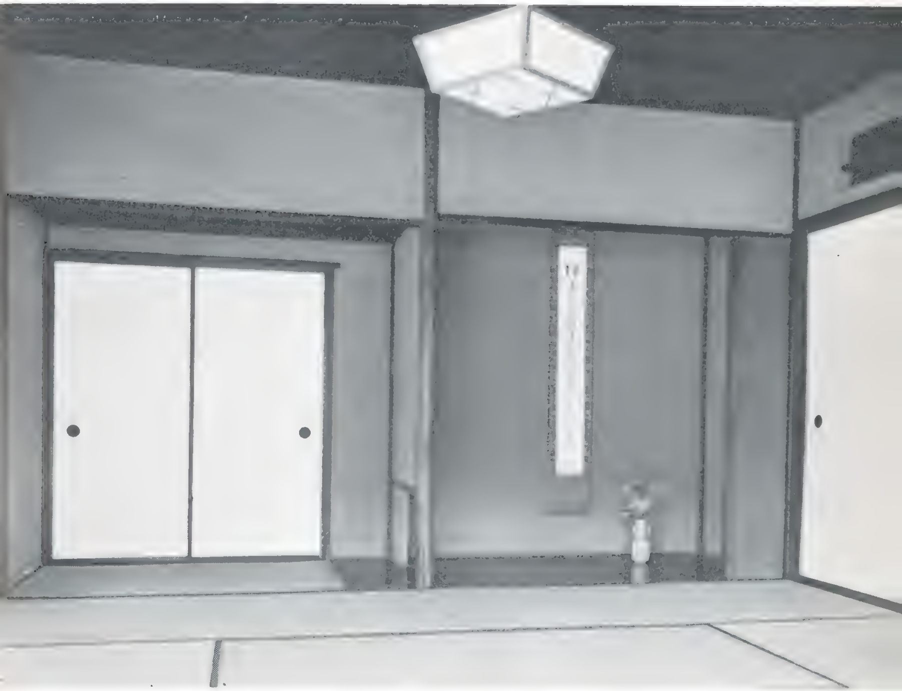
文机と書院窓のある床の間（東京・福田家）
Alcove with Desk & "Shoin" Window (Fukuda's-Tokyo)

床柱	香節丸太
袖柱	二保竹
落掛	北山小丸太
文机	杉杢



蹴込地板に文机を付せる袋床（東京・福田家）

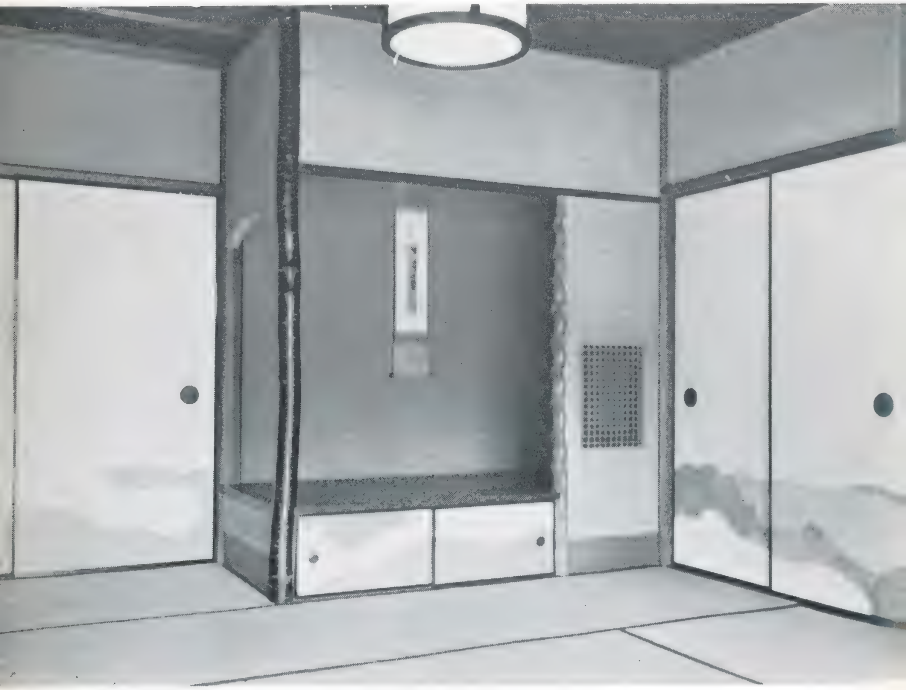
Deadend Alcove with Desk (Fukuda's-Tokyo)

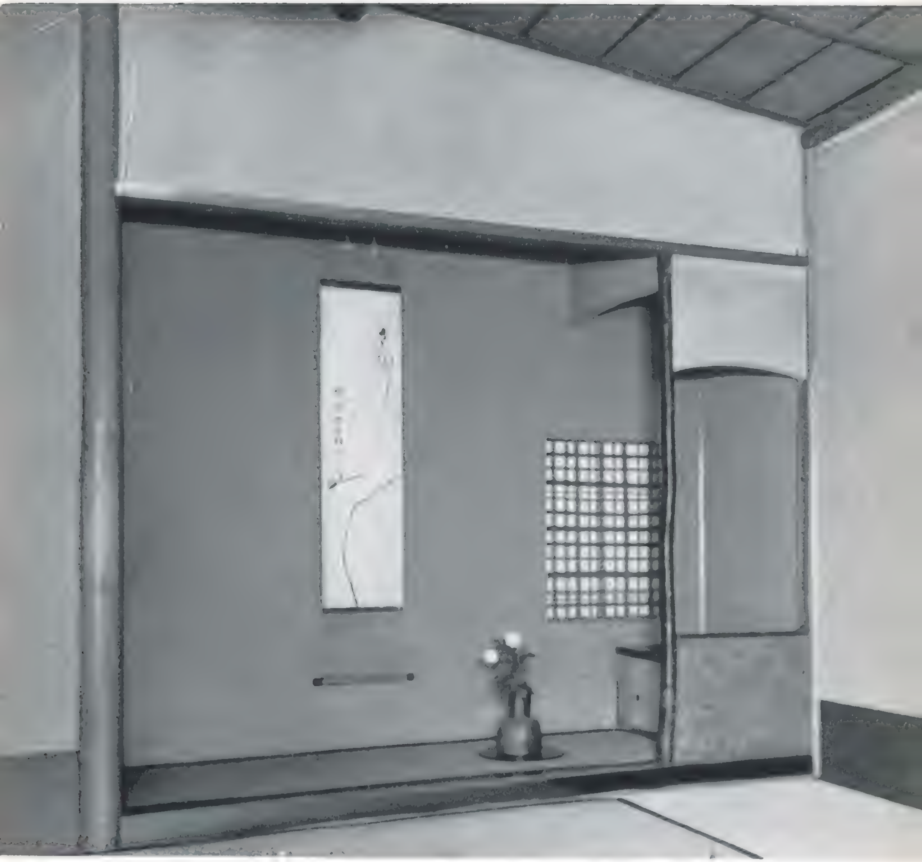


桐柾の袖壁をもつ踏込床（東京・初波奈）
Paulownia Side-walls (Hatsuhana-Tokyo)

地袋を床とせる袋床（東京・初波奈）

Alcove on Bottom Cupboard (Hatsuhana-Tokyo)





面皮の框を用いた袋床

Deadend Alcove with Frame-work of Unfinished Wood

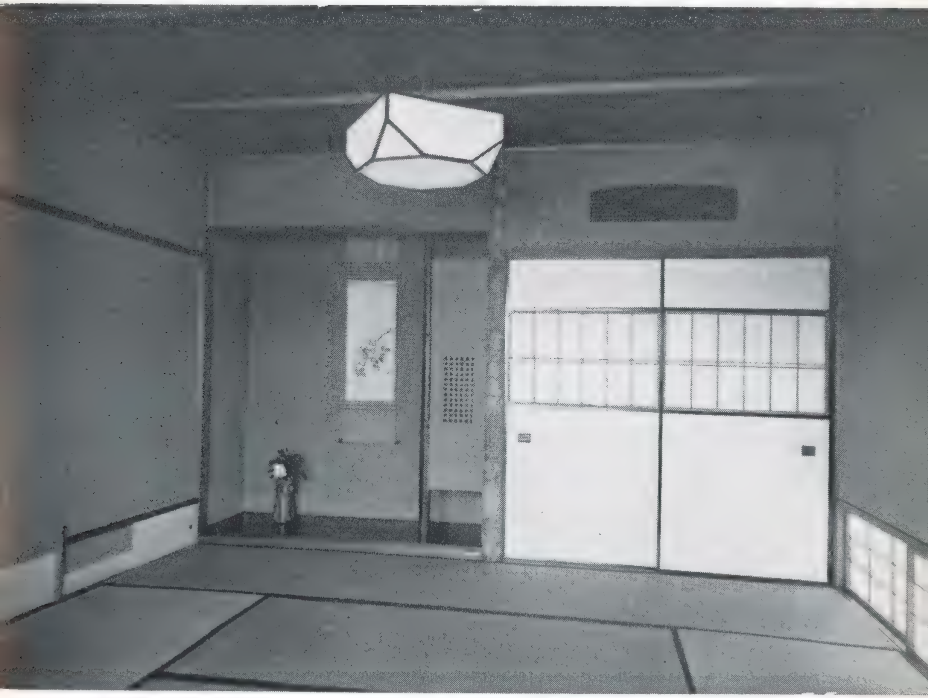


中釘のある洞床（東京・福田家）

Niche with Flower-vase Hanger in Wall (Fukuda's-

床柱	錆丸太
地板	赤松

蹴込地板の袋床（東京・稲垣）　Floored Deadend Alcove (Inagaki's-Tokyo)



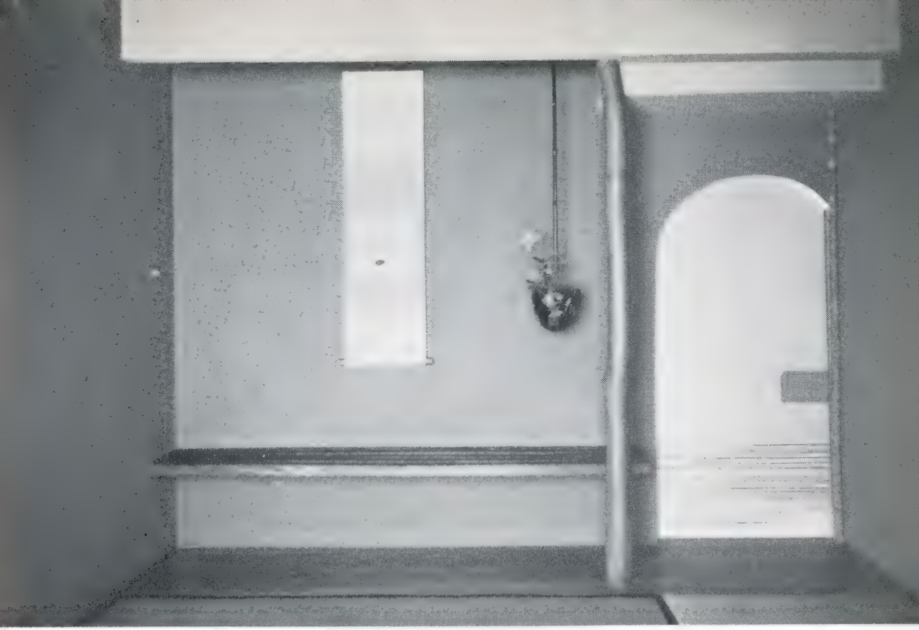
新構想の床の間

ALCOVES BY NEW IDEAS



地板を黒塗りとし入隅を塗廻とせる床の間

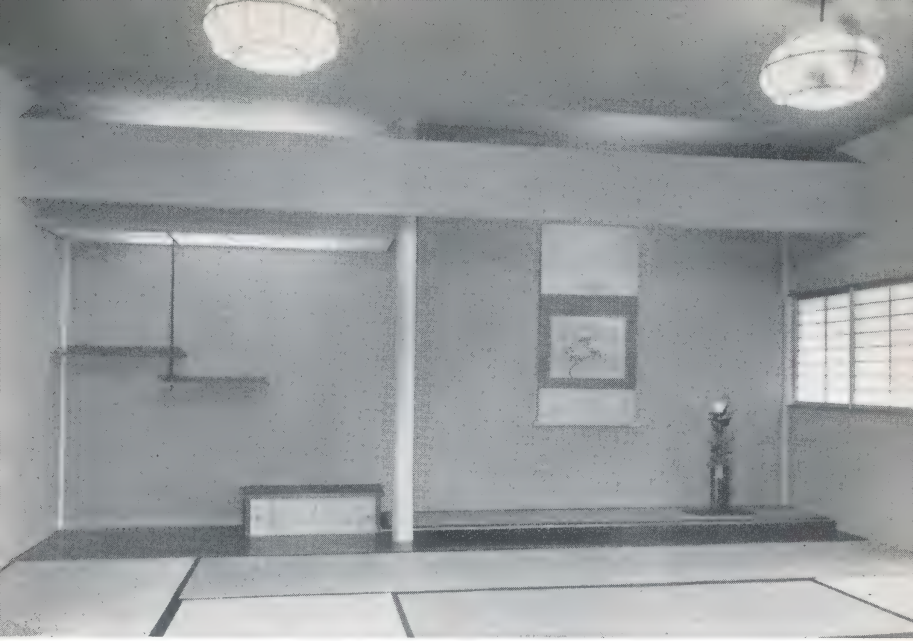
Black Lacquered Alcove



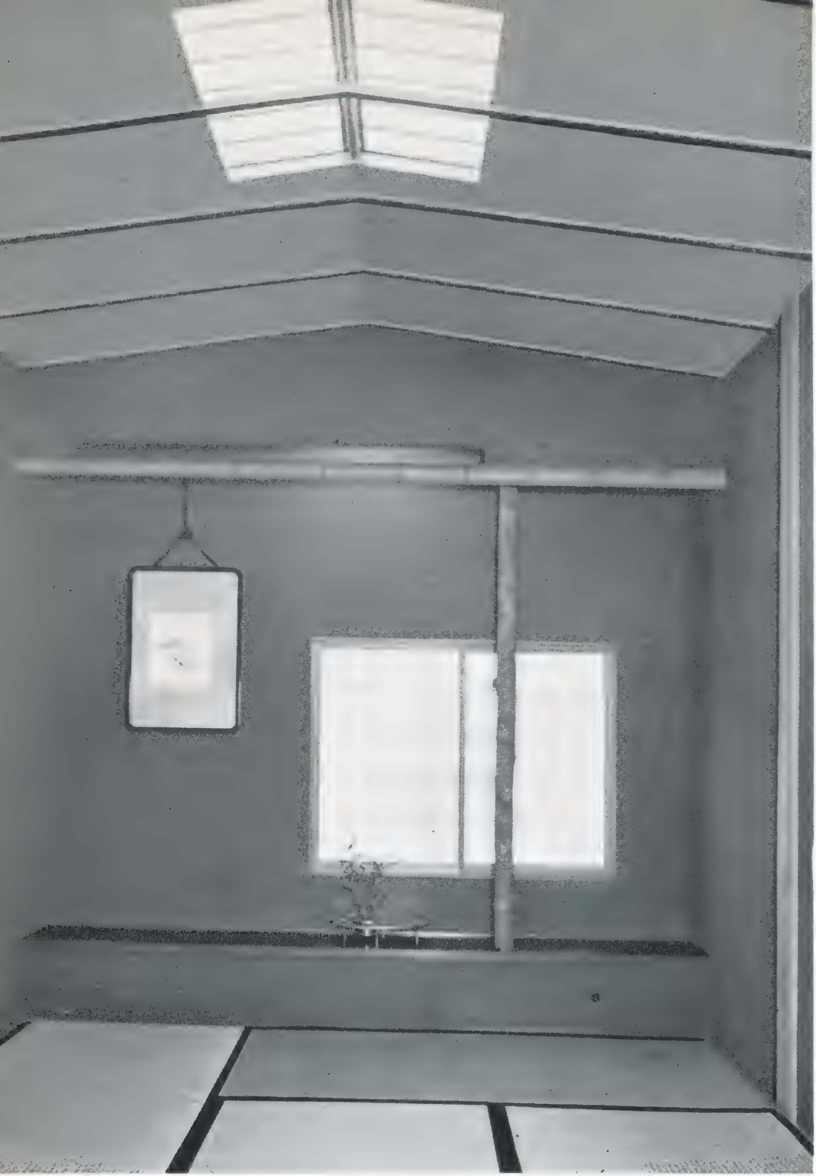
踏込床にナグリの棚をつけたる床の間
Mat-leveled Alcove with Notched Shelf



床前の小壁を釣壁とせる床の間　Alcove with Suspension Shelf



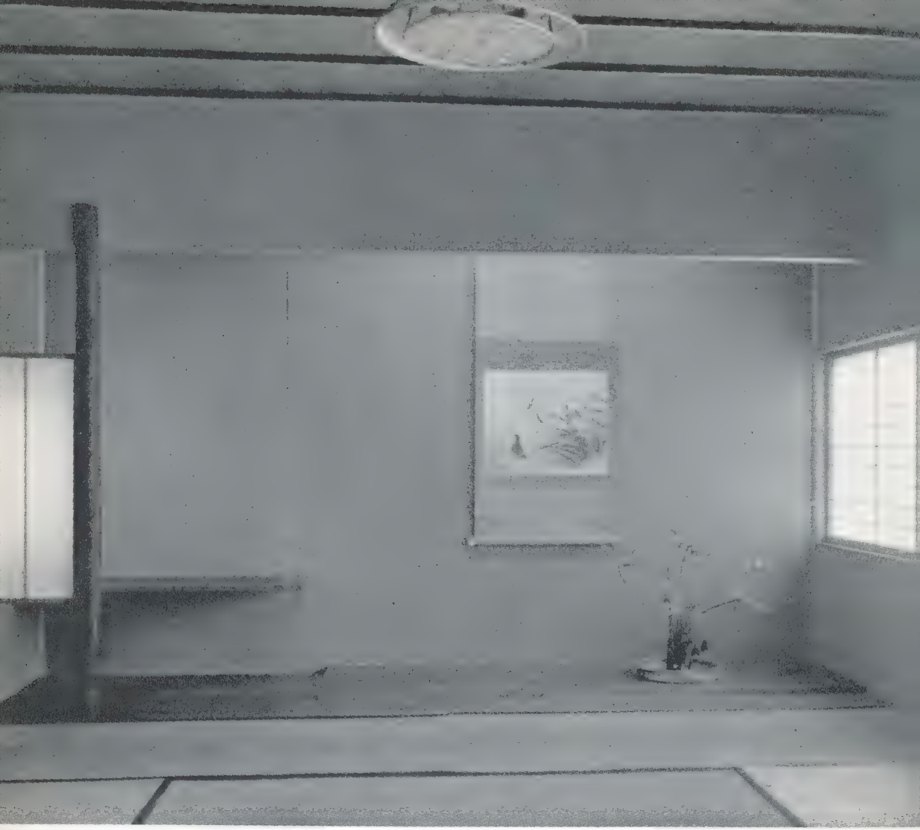
同右床の間全影　Alcove in full view



小 席 の 床 の 間　Alcove in Small Room



立礼席の床の間 Alcove on Dirt Floor

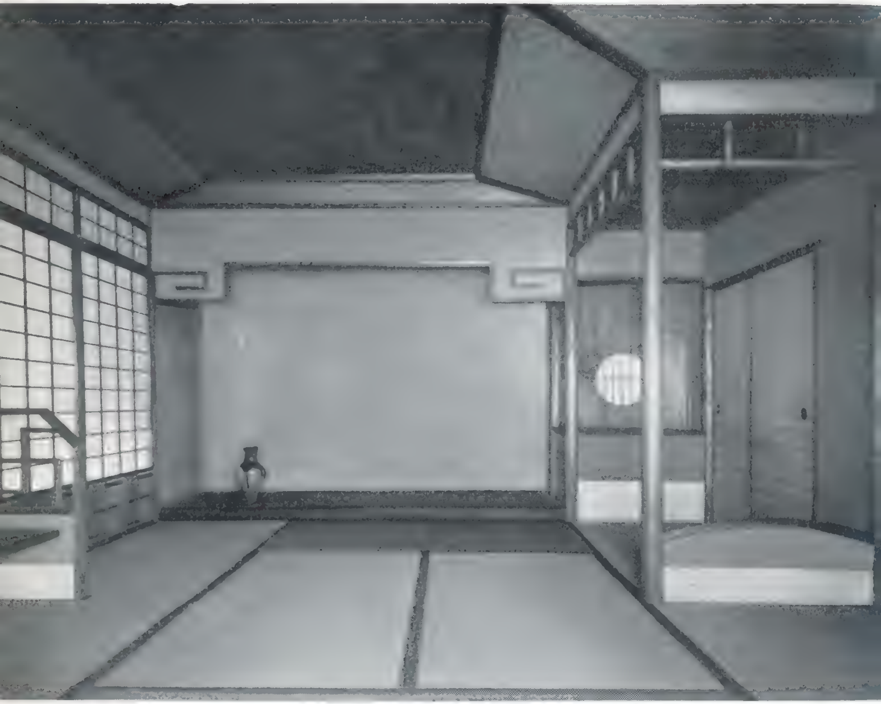


二重の地板を用い釣棚を配せる床の間
Double Floored Alcove with Suspension Shelf



同右釣棚と照明装置
Ditto:Suspension Shelf & Illumination





煎茶座敷の床の間 Alcove in "Sencha" Room

建築写真文庫第3期

（＊印は既刊）

＊61	旅館	＊76	家具2
＊62	ホテル	＊77	洋風の門2
＊63	クラブ	78	ショーウインド
＊64	墓碑と記念碑	＊79	専門店舗2
65	旅館の設備	80	映画館
＊66	温泉浴場	81	事務所
67	医院	＊82	各種学校
＊68	飲食店	＊83	台所2
＊69	寮・アパート	＊84	新しい建具
70	木造住宅	85	出入口
＊71	新しい神社・寺院	＊86	体育館
72	洋風喫茶店4	87	居間と書斎2
＊73	不燃住宅	88	生活用具
74	レストラン2	89	保育所・幼稚園
75	看板と広告塔	90	ガソリン・スタンド

建築写真文庫6　　床の間

不許複製

定価 300円

昭和29年6月1日 初版発行
昭和30年5月1日 再版発行
昭和31年7月1日 3版発行
昭和32年12月1日 4版発行
昭和33年7月15日 5版発行

編集者 発行者 下出源七
東京都千代田区平河町2—11

印刷所 株式会社 駒場原色版印刷所
東京都台東区竹町4番地

発行所 彰国社
東京都千代田区平河町2—11
TEL（33）2851・0293・4523・1745
振替東京 173401

Printed in Japan 1958 製版・不朽堂製版社 製本・木沢製本所